

学 校 行 事 分 科 会

川合 勇治 加藤 容子 中村 明彦

長谷川 弘 原 英俊 湯澤 秀文

1. 中学1年生オリエンテーション合宿実践報告

中 村 明 彦

【抄録】 学校行事の中に新しく組み入れられたオリエンテーション合宿は、6ヶ年一貫教育の出発点である中学1年においてクラス・学年の仲間づくり、また、教師の生徒理解の機会とすることを目標に計画され、実施された。その中学1年オリエンテーション合宿実施までの経過や、実施内容検討内容、各種実施内容について報告する。合宿を通して学校行事や学級活動などの学校生活に対して自主的・組織的に対応できる集団づくりの導入になることを今後の課題とする。

【キーワード】 オリエンテーション合宿 キャンプファイヤー 仲間づくり 学校行事

I はじめに

昨年度から始められた中学1年生を対象とするオリエンテーション合宿は、学校改革の基本テーマに基づいて6ヶ年一貫教育の出発点である中学1年においてクラス学年の仲間づくりをすること、合わせて教師の生徒理解の機会とすることを目標に計画されました。国際理解・平和教育というテーマに関しての特別な取り組みは無いものの6年間の宿泊行事の初めの段階としてとらえていく中では、平和と国際理解を抜きに考えられないものである。

今回特に留意した点として、「人の話を聞く態度」「リーダー育成」「グループ内の協力」「男女仲良く生活できるような試み」等を課題として取り組まれました。

その背景には附属中学校という特別な集団に対する対応が考えられました。附属中学校入学者は、名古屋市内及びその周辺より集まり、お互いまったく知らないもの同士の集まりでありこれから6年間の生活の不安・友達が出来るかという不安を考えたとき公立中学校とは異なる母集団で構成されているわけである。そして、入学してから早い時期に中学1年で充分時間の

とれる宿泊行事を行ない、生徒の相互理解と・学校生活について・学年学級づくり等を集中して行なうためにオリエンテーション合宿が提案されました。

資料：中学1年生オリエンテーション合宿等に関するアンケート

全国私立中高6ヶ年一貫教育を行なっている学校を対象にアンケート（資料1）を依頼しその結果が以下のようにになりました。

1. 回答率 87.5%
（依頼80校・・回答70校）
2. 中学1年でオリエンテーション合宿を含む宿泊を伴う行事について
 - ①実施率 81.4%
（回答70校・・実施57校）
 - ②57校の行事名
オリエンテーション合宿19 林間学校26
臨海学校14 スキー学校7 学習合宿9
※複数の宿泊行事を実施している学校もあります。

3. 中学1年におけるオリエンテーション合宿

- ①回答校での実施率 27.1%
宿泊行事での実施率 33.1%
- ②実施時間
4月・10 5月・3 6月・2 7月・2
8月・1 9月・0 10月・1
- ③日数
2日・9 3日・6 4日・3 5日・1
- ④実施場所
自校の施設・5 他校の施設・2
公営の施設・6 民間の施設・6
- ⑤主な目的
 - ・学校の基本的、建学の精神の伝達
 - ・集団生活を通しての相互理解、友達づくり
 - ・集団生活における規律やマナーの確立
 - ・自主性、責任感の育成
- ⑥主な活動内容
 - ・講話・討論会・学習会
 - ・登山・ハイキング・オリエンテーリング
 - ・はんごう炊さん・キャンプファイヤー
 - ・博物館、美術館等の施設見学

主な目的、活動内容などの設定については、多少異なりますが、オリエンテーション合宿はほとんどアンケートにまとめられたもので代表されていることがわかります。

(資料1)

中学1年生オリエンテーション合宿等に関するアンケート調査	
学校名	中・高等学校
1 オリエンテーション合宿について	
a. 1 実施している 2 実施していない	<input type="checkbox"/>
b. 時期 月 日頃	
c. 日数 日間(泊日)	
d. 場所	
e. 目的内容	
☆ 実施要項等一語いただければ幸いです	
2 オリエンテーション合宿以外の宿泊を伴う行事について	
a. 1 実施している 2 実施していない	<input type="checkbox"/>
b. 行事名	・
時期	・
日数	・
場所	・

Ⅱ 背景

1. 学校行事への導入

中学1年オリエンテーション合宿(以後中1オリ合宿)が、本校において初めて提出されたのが、『将来計画委員会答申・学校行事について』〔本校紀要第三十四集/附属学校将来計画委員会第一次答申〕からである。それには、学校行事のあるべき姿と、宿泊行事を各学年のメインに置き、それらの関連を持たせる必要があると提案されている。以後、学校改革が進められていく間に特色ある中高一貫教育のスタートとしての宿泊行事の検討があげられました。

新中1を対象に「平和と国際理解の教育」に向けての仲間づくりと生徒理解、相互信頼をめざす行事として、中1オリ合宿を実施すること。また、時期内容については本校独自のものを作り、集団行動訓練に片寄らないよう配慮すること等、中1の宿泊行事に対して管理教育につながる集団行動主体の中身への危険性も話題なりながら、同時に中高一貫を掲げるなら中学1年での早い時期の集団指導・生活指導・学習指導の重要性が強調され会議等で論議されました。

2. オリエンテーション合宿方針案

新年度中学1年担任団(酒井・徳井・中村・山本)から、1990年2月1日に提案されました。

提案に際しては、担任団ばかりでなく学校組織の中の研究委員会からの検討案及び要望としてだされたものを基に検討されました。

場所：岐阜県中津川市苗木

東海地区国立大学共同 中津川研修センター

目的：学校改革に基づいて、クラス・学年での仲間づくりをする。合わせて、教師の生徒理解の機会ともする。

内容：(1) 立案の基本方針

- 合宿でなければ出来ないことをする。
- ・十分時間のとった話し合いの場とする
- ・共同してなにかを作り上げる。

(2) 内容例

- ・はんごう炊さん
- ・キャンプファイヤー
- ・身体活動(自然に親しみながら野山を散策する。球技等)
- ・十分時間をとった学級での話し合い(演劇の準備)
- ・共同製作
- ・校歌の練習

(3) 日程例

- 1日目 諸注意／昼食を作る
話し合い／キャンプファイヤー
- 2日目 話し合い／身体活動
- (3日目) 共同製作

○ 研究委員会からの要望

留意点

- ・人の話をよく聞くように願ってほしい
- ・リーダーを育成してほしい
- ・グループで何かを作り、発表する機会を持てほしい
- ・男女が仲良くなるようにしてほしい

内容例として

- ・学年へ向けての自己紹介。
教師も自己紹介をする。
- ・隠し芸大会
- ・フォークダンスをしっかりと教えこむ。
- ・読書
- ・国際理解、平和に関した催しを企画する
- ・クラス憲法を制定する。
- ・ちぎり絵をグループで作る。
- ・英会話をトレーニングする。
- ・条件が整わないなら、はんごう炊さん・キャンプファイヤーにこだわらなくても良い。

日程について

- ・初めての試みでもあり、あまり欲張らず、1泊2日に収めたい

○ その他の要望

- ・生徒の立場に立っての企画を考える。
- ・中高6年一貫のスタートとしての意味を持ったもの。
- ・いじめについて、人間差別について取り上げてもらいたい。
- ・長期計画をたてられる生徒。その場しのぎの行動にさせない。

場所に関しては、この時点でほぼ確定されていたが時期として入学式及び始業式直後の2泊3日も考えられました。その理由には、4月の初めに行なう教務・生徒・指導各部長の先生によるガイダンスまた、学校生活についてのオリエンテーション、自己紹介などの

学級活動も含めてすべて行なう予定も考えられたからである。

Ⅲ 実施内容

1. 実施案

1990.4.10 中1オリ合宿案(資料2)
オリ合宿日程案(資料3)

(資料2)

中1オリエンテーション合宿実施案

H2.4.10 中1担任団

日時：平成2年4月27日(金)・28日(土)

場所：岐阜県中津川市苗木字岩須639-20

東海地区国立大学共同

中津川研修センター

☎ 05736-7-2002

目的：クラス学年の仲間づくりをする。合わせて、教師の生徒理解の機会ともする。

- ・人の話をよく聞くようにする。
- ・リーダーの育成と、グループ内の協力をめざす。
- ・男女が仲良く生活できるような試みとする。

【生徒持ち物一覧】

- | | |
|-------------|---------|
| ・一日目の弁当 | ・体操服4種類 |
| ・体育館シューズ | ・洗面用具 |
| ・運動靴 | ・パジャマ等 |
| ・着替え(下着、靴下) | ・係の用具 |

【事前準備】

『班(生活班)内各係分担』

- | | |
|-------------|---|
| ・班 長 | 生活班と同じ。集合同期点呼を行なう。 |
| ・スポーツ係 | グループ対抗戦実施案
種目
実施方法
(参加人数・ルール)
役割分担
必要な道具 |
| ・キャンプファイヤー係 | キャンプファイヤー実施案
ファイヤー準備
実施方法
役割分担 |
| ・バスレク係 | レク内容検討 |

種目	
役割分担	
(しおり作成)	
・美化食事係	毎食の配膳準備
	宿泊場所清掃分担割
	り当て

(資料3)

日 程

(4/27～4/28)

日 程	活 動 内 容 (係)
[一日目]	
8:30	学校集合 テニスコートに班別に整列 人員点呼 (班長→室長→担任) 諸注意 (実行委員) 〔雨の場合柔道場〕 乗車・車中点呼 (室長)
9:00	バス出発 バス内レクリエーション トイレ休憩なし
11:00	研修センター着 玄関前に班別に整列 人員点呼 (班長→室長→担任) 〔雨/第一研修室〕 始めの会 第一研修室 式次第 典礼: () 1. 礼 2. 始めの言葉 (実行委員) 3. 教官あいさつ 4. 管理人あいさつ 5. 諸注意 〔センター室内・本日のスケ ジュール・確認事項〕
12:00	昼食 第一研修室にて 入室 各部屋ごとに移動 体操服に着替える 係は準備
13:00	スポーツ/グループ対抗戦 グラウンド〔雨/体育館〕 ゲーム説明 *グループ対抗戦実施案 例・網引き ・ボール運びリレー ・長縄とび ・騎馬競争 ・ドロジュン

15:00	・ジャンケンゲーム 自由時間 (おやつ時間) 場所 () ※〔生徒で内容を検討〕
16:00	ミーティング キャンプファイヤー準備 ・班の出し物など
17:20	夕食準備 (係)
17:30	夕食 第一研修室
18:10	入浴 入浴マナーの徹底 順番 男 女 ① A 1 - A 10 A 20 - A 27 ② A 11 - A 19 A 28 - A 35 ③ B 1 - B 10 A 36 - B 24 ④ B 11 - B 20 B 25 - B 32 ⑤ B 33 - B 40 髪は洗わない キャンプファイヤー グラウンドにて 〔雨の場合は体育館でキャンドルの 集い〕 人員点呼 消灯・就寝
19:45	
22:00	
[二日目]	
6:00	起床 体操 玄関前集合・班別 付近散歩 洗顔
8:00	朝食/清掃活動 ・ファイヤーの片付け ・部屋・風呂の清掃
9:00	学級活動 ・学習会 ・レクリエーション ・感想発表会 等
11:50	昼食準備
12:00	昼食 第一研修室
13:00	身辺整理・後片付け 終わりの式
14:00	センター出発 バス内レク
16:00	学校着 テニスコート集合 月曜の連絡 解散

中学1年生オリエンテーション合宿実践報告

資料4 事前活動・経過内容

(学級活動におけるオリエンテーション及びオリ合宿事前活動)

4月	行事予定	〈学校案内・説明〉	〈オリ合宿関係〉
5(木)	入学式準備		
6(金)	入学式 教		学年会（合宿案検討）
7(土)	始業式	担任挨拶・座席決定	
8(日)			
9(月)	離任・新任式	自己紹介・各部長より生活の きまり説明	
10(火)	↑	校内巡回見学・学級役員選出	オリ合宿説明・グループ内係決め・バスレク案
11(水)	再 中選管	班活動（掃除）	グループ対抗戦種目検討・2日目朝の内容検討
12(木)	試 高新生歓迎会		同上
13(金)			
14(土)	教育実習オリエンテーション		自由時間についての検討
15(日)			
16(月)	中新生歓迎会		合宿各係打ち合せ・検討会
17(火)			
18(水)	部・サークル登録		キャンプファイヤー事前練習
19(木)	高立合演説会		バスレク案検討・事前練習
20(金)			
21(土)	中立合演説会		各種実施案完成・しおり作成
22(日)			
23(月)			グループの出し物について
24(火)			
25(水)		集団行動練習	全体指導：グループ対抗戦・フォークダンス練習
26(木)	クラブ登録		事前準備：持ち物・係打ち合せ
27(金)	↑ 遠足		
28(土)	中1オリエンテーション合宿		
29(日)	↓		
30(月)			感想文・アンケート

※学級活動；生徒会活動（月曜1時限）・道徳・ホームルーム（月曜5、6時限）

以上の案で、本年度のオリ合宿が進められることになりました。

費用：一人あたり――

宿泊費	2,000円
	(食費; 1,550円)
交通費	3,500円

計画立案に関して特に考慮したことは、「話し合いの後に体を動かす。」というように、静と動を交互に入れようと考えたことです。その中で、1日目のスポーツ／グループ対抗戦を入れた理由は、教室内だけでは見られない同級生の姿が、身体活動、ゲームによって見られるのではないかという事からである。また、キャンプファイヤーの実施については、今後6年間の宿泊行事を考えてみたとき、林間学校(中学2年)・修学旅行(中学3年)・林間学校(高校1年)・研究旅行(高校2年)等で、必ず行われてきました。しかし、感動のあるキャンプファイヤーが近頃企画運営されていない。やり方によっては非常に生徒相互の親睦を深める一つの良い企画だと思われるからである。

そのために、基本的な進行方法や内容(特に、フォークダンスや班のだしものについて)を含めたキャンプファイヤーを中1で体験することを考慮して計画を先生主導で行なった。

2. 事前指導、実施までの経過(資料4)

実施案をもとに実施までの細案が検討され、班分け役割分担・係ぎめなどの合宿の事前準備活動が、新入生に向けての毎年恒例の学内オリエンテーションと同時に進行していきました。

授業内時間(生徒会活動、道徳、学級活動)でおもに活動していましたが、毎日授業後準備の作業にあたった係もありました。

この事前活動を振り返ると、事前準備に気をとられて、クラス・学年をじっくり作り上げていく時間がなかったと思います。その原因には、先生主導になってしまい、生徒同志で作り上げていく物がなく押しつけによるものが多かったと考えられる。ただし、細部にあたっては、生徒間で工夫し準備にあたったものもある。

3. 各種実施案・「しおり」からの抜粋

スポーツ実施案の中にある、つなひきは、小人数で行ない網を用意した。ビーチボールバレーは、ソフトバレーボールを使用し、ネットはビニールテープで支柱は竹竿使用するなど、手作りの物で行なった。

(1) スポーツ実施案

1). つなひき(1試合につき勝ったグループは得点5)

- ・A組の班 対 B組の班 ・1班が2試合ずつやるように
- ・1試合は3回戦で2回勝ったほうがその試合の勝者となる
- ・勝ち点 5
- ・対戦はクジ引き
- ・7人班対6人班でやる場合は6人ずつでやる
- ・進行

対戦班を決めるためにクジをひく→紙に書いて掲示

→試合開始：司会が対戦班を発表し、その班は前にでて、網の横につく。

→あいさつ「おねがいします」→位置について、審判の合図により始め

→中央線まで相手のつなを引きこんだら、勝ち

2). ビーチボールバレー(1試合につき勝ったグループは得点5)

- ・A組の班 対 B組の班 ・1班が2試合ずつやるように
- ・1試合は3セットで2セット勝ったほうがその試合の勝者となる
- ・1セット7点 ・サーブ権がなくても相手のコートにボールを落とせば得点となる
- ・3点タッチでボールを相手に返す
- ・6人班, 7人班は考慮しない
- ・コートは4つ作り, 8チームが戦い, 4チームが審判
- ・試合時間は最長でも1試合15分
- ・風が強い場合はドッジボールを使うか中止する。中止する場合はドッジボールの時間を長くする

3). リレー形式競争

あ. 2人3脚

- ・A, Bとも1と2, 3と4, 5と6班のチームが1つの単位となる
- ・各チームは7周しなければならない

○————○	1位: 10点
	2 : 7
○————○	3 : 5
	4 : 1

い. 借り物競争

○	○	1 位 : 10 点
		2 : 7
○	○	3 : 5
		4 : 1

4). ドッチボール (勝ったチームの各班に3点ずつ)

- ・男女別 A123 A456 B123 B456 が1チーム
- ・1チームが3試合ずつやるように(リーグ戦)
- ・1試合10分
- ・コートは4つ作る
- ・外野は最初2人
- ・外野の人は当てたら中に入れる
- ・2人にあたった場合は最後にあたった者がアウト
- ・10分後に中にいる人数が多いチームか、相手の、中にいる人を0にさせたチームが勝ち
- ・同点の時はジャンケンで勝負を決める

(2) ファイヤーの集い

ファイヤーの集いは、〈愛知県旭高原少年自然の家：研修の手引き〉を参考にしました。

1). 意義

赤々と燃える火を開んで、厳粛な儀式・楽しいつどいを体験学習することによって、強い印象と勇気、連帯感、協調性を養う効果は計り知れないものがある。この体験から自己を見つめ、明日への糧とする。

2). ねらい

①雄大な自然と炎が織りなす神秘的な雰囲気を経験させ、生きる喜びと勇気を抱かせる。また、いつまでも燃え続ける熱い感動を印象づける。

②集団で楽しみ、創造する体験から、自律心、協調性や連帯感を育てる。

3). 準備

施設…灯油、トーチ棒 (セレモニー用)、針金、火落とし棒、消火用バケツ、スコップ、ナタ、ペンチ、ノコギリ、ホウキ

個人…軍手、懐中電燈、トーチ棒 (グループ1本ずつ)、新聞紙

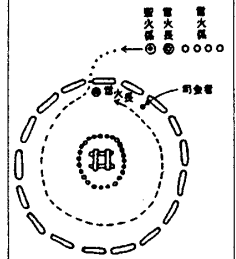
4). 役割分担と活動内容

役割名	内 容	人 数
営火長	団体の代表室で「営火長のことば」を述べる。	1
司会者	プログラムを作り、司会進行をする。	1
聖火係	聖火を持って営火長を先導する。	1
営火係	営火長から分火をうけ、中央薪に点火する。 誓いの言葉。	4

献聖者	第3部で誓いの言葉を述べる。(感想、抱負、感謝)	グループ1人
設営係	会場の準備と後片付け。	10~15
音楽係	音楽により雰囲気をつくる。	2~4

5). 展開計画

第 1 部 聖 火 の つ ど い			
流 れ	時間	内 容	留 意 点
集 合	15分	広場等に集合してフェイヤー場まで静かに移動する。	
入 場	10分	1列にならんで、班別に入場し無言のまま立っている。座席はあらかじめ決めておく。	係の先導で静かに入場する。
開 会 の こと ば	1分	司会者は最初に入場している。	
歌	3分	「遠き山に日は落ちて」を歌う。1番が終わったらハミングで続ける。	司会者が歌の出だしを歌う。
聖火入場		ハミングを続けるうちに営火が入場する。トーチをかざした聖火係は営火場を反時計回りに1周し、営火長と対面して立つ。	
営火長の こと ば	3分	しばらく見つめて営火長のことば、火の話などを2~3分にまとめて話す。	営火係は営火長の前に整列する。
分 火	2分	営火長は分火する時「○○」に「△△の火を与えます」と言って次々と営火係に分火する。	司会者が「分火をお願いします」と云う。
点 火	2分	営火長の「点火」の合図により、おごそかに中央薪に点火する。	
歌	2分	「燃えろ燃えろ」を全員で元気よく合唱する。ここで第1部が終り全員席にすわる。	司会者が「それでは元気よく○○○の歌をうたいましょう」と先導して歌う。
第 2 部 交 歓 の つ ど い			
流 れ	時間	内 容	留 意 点
歌	2分	はじめに明るい元気な歌を2~3曲歌う。	第1部の緊張からなごやかな交歓へ歌とゲームで導入する。



グループ の出し物	60分	司会者は、グループ別の出し物の合間に参加者の気持を考えながら歌、ゲーム、踊りなどを入れて、ふんいきをどんどん盛り上げる。第2部が終りに近づいたら静かな歌を何曲か歌う。参加者は自席で静かに立ちあがる。この間トーチが営火係により座席のうしろに配られる。	各出し物は定めた時間を守らせ、その場でする。
フォーク ダンス			
静かな歌			
第 3 部 火 を 送 る つ ど い			
営火長の 採 火	1分	営火長は残り火からトーチに採火する。	
歌	3分	中央の火をみつめながら静かに歌う。	
誓 い の 言 葉	3分	あらかじめ決めておいた、火の誓いの代表者（グループリーダー）はトーチを持って営火長の前に進む。営火長から1人1人火を受け取り、自分のグループの前に立つ。順番にスピーチ（誓いの言葉）をする。	スピーチの内容は、ファイヤーの感想や、明日からの活動の決意などを短くまとめて述べる。
終 り の あいさつ	5分	司会者の詩の朗読	
	3分	最後に営火長から、思い出を胸に残すような短い結びの言葉。	
歌	2分	「今日の日はさようなら」を歌う。	二番くらいから肩をくみ、体をゆっくり動かしながら歌う。
退 場		「一日の終り」をハミングしながら広場に帰っていく。	営火長はじめスタッフはトーチを振りながら見送る。
解 散	20分	グループのトーチ棒を片付けさせ、全員に解散を指示する。	
片 付 け		会場係は後片付けをする。	借用物は確認して返却する。

6). 留意事項

- (ア) 雨天の場合の対応策を決めておく。特に雷には注意し早目に避難誘導する。
- (イ) 点火時、消火する時（火がだんだんと小さくなる

時）及び儀式の火では、懐中電灯等の他の灯を消させる。

- (ウ) 消火は完全に行なう。後からファイヤー場を巡回する。

(留意事項)

- (ア) 子どもたちの役割分担を中心とした、自主的な運営になるように配慮する。
- (イ) 全体の時間を1時間30分くらいにまとめ、流れが単調にならぬよう工夫する。
- (ウ) 第1部と第3部は私語をつつしみ、厳粛な雰囲気演出するよう事前準備と指導をする。
- (エ) 第2部ではその場ですぐに出来るものとし、準備に時間を要したり、練習に多くの時間を要するものは避ける。
- (オ) 寸劇は工夫して、楽しい出し物を作る。全員が参加するようにし、時間は3～5分程度とする。

題材としては、

- ① 施設で感動したことやエピソードを取り上げる。
- ② 名作や名場面をアレンジする。テレビなどの物まねはしない。
- ③ 世相、ニュースなどを風刺する。
- ④ 替え歌に踊りを入れ、衣裳を工夫する。

今回のキャンプファイヤーでは、資料を素に基本的な進行方法を生徒が体験することを目標に置いたため、進行係（司会者）を先生が行ないました。感想文にも有りますが、『自分達の手で司会がやりたかった』という気持ちが現われていました。このキャンプファイヤーによって、これから行なわれる各種の宿泊行事において、より良いファイヤーの集いを生徒自身の手で計画できることを期待しております。

補足；フォークダンスについて

フォークダンスが計画通りにやれないのは、まず、踊り方がわからない、踊り方を知らない事が一番の原因・・・知らないから踊らない。

その為に、覚えさせる事前練習。当日練習でも20分程で理解できるものを選ぶ。

フォークダンスは、全員が協力しないと出来ないため、皆で一つのことをやるという集団意識を養うことが出来るのではないかな。

使用した曲：オクラホマミキサー
コロブチカ・ジェンカ

生徒の感想 [オリエンテーション合宿の目的意識] ①

1. 目的は何だったと思うか 2. 目的の達成度と、その理由

A1 飯田洋士

1. いっぱい友達を作る。そして色々な事を協力してできるようににする。自分の友達の短所・長所を見付けだす。リーダーの指示をちゃんと聞いてそのように行動できるようにする。

2. ほとんど達成できたが、できないやつもあった。友達は、一緒に部屋の人とかと友達になれた。あとスポーツの時とか協力できた。でも友達の長所・短所は、注意深く見ていなかったのを見付けられなかった。リーダーの指示はよく聞いた。

A2 稲垣太一

1. 男女の関係なく、皆が仲良くする。
色々な面での取り組み方を体験する。
友達の良い所や悪い所を知り、良い所だけを身につける。
正しい礼儀（躰）を身につけ実行する。

2. ぼくとしてはできたと思う。理由は、皆キャンプファイヤーの時もフォークダンスを楽しく踊っていたし、最初のあいさつもできたと思うから。また、先生の話も良く聞いた、そして人の良い所を真似して、先生が話している最中におしゃべりをしている者に注意してくれた人も沢山いた。
しかし成功もあれば失敗もある。ぼくの取り組み方を見るといやになる。だらだらやって、しゃきとしなくけじめがない。(暑かったし、とても楽しかったの、つついとお喋りをしてしまうから。)

A3 有働洋平

1. ぼくの1番めの目的は、B組の子と友達になることです。B組の子と遊んだりしたのは、夜でした。皆でトランプをした。2番目は、今の友達とも親しくすることです。もう1つは、自然の中で、遊ぶこと。

2. B組の子とはだいたい友達になれたけど、夜更かししたのはいけなかった。また、スポーツ大会の時、敗けると思って真面目にやらなかった。

A4 加藤 忍

1. 合宿で友達を作り、その友達とも友情を深め合い、また自分を皆に、良く知ってもらうために、

皆で楽しく1年間生活できるようにやったのではないと思う。

2. 友達を作り、友情を深め合うことはできたけれど、自分を皆に知ってもらうのは、はっきりいって、知ってもらえなかったのが悔しかった。

A5 鬼頭克典

1. 皆一緒に、本当に、絶対必ず、仲良くなれるようになるため。

計画する事と、実際は違うという事を体験すること。

班で行動するので、皆に合わせなければならぬ事。

2. 班に、言う事を聞かない者がいたので達成できなかった。

部屋の中では、他のクラスの生徒とも仲良くなれたので、達成できた。

キャンプファイヤーは、計画しても、班の出し物がうまくできなかった。

A22 石川佐智

1. 男女かまわなく、皆と仲良くなること。遊ぶ時は遊ぶ、寝る時は寝る。人の話を聞く時は、きちんと聞くというように、けじめを付けること。自分勝手な行動を取らないで、班などで皆が協力し合って生活するという事。

2. 皆と仲良くすることはできました。新しい友達も作りました男子とはあんまり仲良くは出来ませんでした。他の女子が男子と騒いでいるのをみて「あーゆーふーには、あんまりなりたくないな。」と思ったから。けじめは、まあまあ付けられたと思います。人の話を時々聞いていなかった時も少し有りました。自分の班には協力し、美化・食事係も頑張りました。

A23 大江 幸

1. 名大附属中学生として、(1)あいさつをする(2)掃除をする(3)早く集合する(4)けじめをつける(5)思いやりをもつという先生が言った5つの事だと私は思います。

2. 出来た目的もあるし、出来なかった目的もある。(1)は、食事のあいさつとか色々な所で出来た。(2)は、掃除の時に、ベットの下の埃とかを取り出来たと思う。(3)は、スポーツの時、水を飲みについて

て遅くなり駄目でした。(4)は、よる友達の部屋とかに行ったり、よる遅くまで話をしている駄目だった。(5)は、よく分からないけど、自分なりに出来たと思う。

A24 太田 愛

1. “オリエンテーション”ということばかりして皆で話し合ったり協力し合ったりすることが主な目的だと思う。それと同時に男女仲良くなれるし、お互いを深く理解するのも目的の1つだと思う。たった2日間のことだったが学べた事は、数えきれないといっていいほどあった。

2. 「達成できたか」と聞かれたら私は迷わずうなずけると思う。班対抗スポーツ大会でも精一杯の力を班全員で出して頑張ったからこそ負けてもそれほど悔しくなかったと思う。勝敗を競うよりももっと大切な“一生懸命頑張って協力する”という事が身に染みて分かったし、それに対する努力は惜しまない気持ちも大切だ。

A25 大庭麻衣子

1. 目的は、男女・他のクラスのこと仲良くなって、自然に親しみ色々ゲーム等をして楽しく過ごせるようにするためだったと思う。あと友達の事をよく知りそしてまた一層仲良くなることだと思いました。

2. 自分では一応できたと思います。でも少しフォークダンスの時に、手をつながなかったりしたのはあったけど、スポーツの時とか計画を練ったりする時とかも、男女仲良く、ケンカせずに出来ました。

A26 風岡順子

1. 友達と協力し合ったり、一生懸命話し合いなどをすることだったと思う。また、手伝いをしたり話を真剣に聞くこと。もっと友達の事を知ることだったと思います。

2. 私は美化食事係で食堂で係の皆と一生懸命にお手伝いしたので自分自身ではこの目標は達成できたと思います。友達との関係では、余り友達との事を知ることが出来ませんでした。だからまた、もっと友達の事を知りたいと思います。

B23 大野正子

1. 合宿を土台に友達づくりに取り組む。例えば、

フォークダンスで男女仲良くだとか、寝るとき、先生の目を盗んでB組の子達はもちろんA組の子たちともおしゃべりして友達になるとか。

2. 達成できたと思う。理由は、朝でも「おはよう」の3文字が言えるようになったし、教室で女子の子達と話す機会が多くなったから。

B24 岡崎 緑

1. オリエンテーションは、中学になったばかりの私達が、沢山の友達を作って友達がいる人は、その人とも友情を深めるための物だと思います。また、班などでは、協力して色々行動するのも目的ではないかと思っています。

2. 部屋がA組の子と一緒になので、今まで喋ったこともない人でも、すぐ友達になれることができて良かったと思う。班では一応協力できたと思う。これからも、もしこういう機会があったら、もっとまとまりのある班になるように努力しようと思う。

B25 北川桃子

1. 友達づくりで今までよりもっと仲良くなれるか、A組の人達とも仲良くなれるように同じ部屋で寝れるようにしたと私は思う。ゲームやスポーツで男女も仲良くできるようにしたと思う。

2. 同じ部屋のA組の人とも仲良くできた。今まで知らなかった人とも知り合えた。フォークダンスやスポーツで男子と仲良くなれたし、同じ班の人とも今までよりずっと仲良くできるようになった。

B26 甲賀千明

1. 私は、友達をつくったり、男女関係なく仲良く一緒に遊んだり協力したりすることを学び、男女を差別する事無く、そして、仲良く話し合いの出来るようにいつも心がけていられるようにする事が目的だと思います。

2. オリ合宿を通じて男女共に仲良くなったので目的は達成できたと思うけど、消灯が10時は、早かったし、それからの監視が厳しすぎたのもう少し監視が甘かったらもっと楽しかったと思いました。

B27 後藤江美子

1. はじめてあった人ばかりなので、全然知らないし、どういう人柄をしている人か分からないので、この合宿に行って、どういう人かどういう性格か、自分に合うのか、そういう自分に合う人を見つけて友達になって、そして、どんどん友情を深めていって、今度はクラスの皆と友情を深めていけるようにするため。

2. A組の子とも仲良くなれたし、B組の子も友達が増え、どういう性格をしているか、自分に合うかそういうのが良く分かって友情も深まったと思うから、この合宿は良かったと思う。

生徒の感想〔2日間を通しての全体感想〕②

A15 やはり、一番印象に残ったのはキャンプファイヤーです。楽しかったのはそれぞれの班が面白いことを一生懸命やったことです。また皆でお風呂に入ったことや、同じ部屋の人と一緒に寝る前に、面白い話などをしたりした事は日頃体験できないこともあり、とっても楽しかったです。それに行き帰りのバスの中でも沢山のゲームをやりました。

最後に皆で協力し合うことは、とっても気持ちのいいことだなあと思いました。またそういう機会が作れたら自分で立てた計画を今度こそは、全部しっかりと達成できたらいいなあと思っています。私は、これからもルールを守り、いつまでも思いやりの心を持ち続けていたいなあと思いました。

B6 また、友達になったばかりの子達だけで一晩を過ごしてみて、小学校で行った時よりも少し違いました。それは、まだ一人一人の性格をくわしく知らないからだだと思います。でも性格を知っていても、知らなくても皆で協力すれば何事でも出来る事が分かりました。このオリエンテーション合宿があったおかげで普段あまり話さなかった子と話をすることが出来たり、協力することが出来たりしました。ここで学んだことをこれからの学校生活に生かしていきたいと思っています。

A3 はくは、2日間を通じてためになった合宿だと思う。キャンプファイヤーでは、フォークダンスやスタンツ（出し物）で、A組・B組ではなく、先生や男子女子の間でも、仲良くなれたと思う。はくとしては皆が目的を達成できたと思うし、決まりを守れたと思う。この合宿をして色々な体験もできたし仲良くなれたと思う。

A20 オリエンテーション合宿に行く前は、隣のクラスの子と一緒に寝るなんていやだなあとか、キャンプファイヤーの時、フォークダンスなんていやだなあ・・・男子と手なんかつなぎたくないよ・・・と思っていました。でも隣のクラスの子はやさしい子ばかりで、とても楽しかったのでやっぱり良かったと思いました。フォークダンスの時も、男子はきちんと手をつないでくれたので楽しかったです。だからいやだなんておもったのが恥ずかしくなりました。集団行動のなかでは、男女とも仲良くおしゃべりができてとても楽しい2日間でした。

B10 行く前とかは、皆と楽しく出来るかなとか、色々不安があったし、心配もしたけれど今になってみれば、本当にオリ合宿にいて良かったという気持ちでいます。スポーツ大会やキャンプファイヤーとかがすごく楽しかったからです。でもやっぱり一番行って良かったと思うことは、友達と今まで以上に仲良くなれたことじゃないかなと思います。合宿はすごく楽しかったので、早く2年生の林間学校にならないかなあと思っています。

A36 私は、こんな楽しかったことは初めてでした。すごく楽しくて一泊ぐらいで帰るのはとてもいやでたまりませんでした。小学校の時も中津川に行って同じような事をしました。2泊もしましたがつまらなくてつまらなくてもう早く家に帰りたと思っていました。その思い出があったので今度の合宿に行くのは乗り気ではありませんでした。いざ行ってみると、キャンプファイヤーにしてもスポーツ大会にしてもすごく楽しかったです。

A28 行って良かったと思います。友達もできたし、夜とかも友達と喋ったり、いつも家ではできないことが経験できたと思います。星も夜空一面に広がってすごく感動しました。キャンプファイヤーにやった出し物とかは、グループの個性が出ていてすごく面白かった。食事の時も、男女で色々な話とかできた。お風呂とかは少しの時間しかなかったけれどお湯のかけあいをした。バスの中でも、歌を歌ったりした。できればもう一度行きたい。

生徒の感想〔係の反省及び感想〕③

班長

〈事前準備〉

- ・1回だけ合宿のことについて班長会をやった。よくできた。

- ・キャンプファイヤーの出し物を決める話し合いの意見をうまくまとめることが出来なかった。
- ・まあ、きちんとできたと思います。
- ・事前準備といえば、キャンプファイヤーの練習の時や班長会での話し合いとかです。個人的には、何も準備していきませんでした。
- ・班長会にいくのを忘れてしまった。おかげで、班長会で決めたことが、ぜんぜんわからなかった。

〈当日〉

- ・みんながあまり整列してくれなかったので、ちょっと残念。ぼくのやりかたがちょっと悪かったと、反省している。あまり、よくできなかった。
- ・結構、うまくいったと思います。ただ、放送で班長がロビーに呼ばれた時は、遅れてしまいました。
- ・わたしが、並ぶのが遅かったと思っています。そのことで、班のみんなに迷惑をかけて悪かったと思っています。
- ・班員を並ばせることや静かにさせること、協力し合おうと、努力はしました。並ばせることは結構できたと思いますが、スポーツ大会のときなどは始めうさかったし、注意はしたけど、その他は何もできませんでした。でも、ゲームやスポーツをやっているときは、協力して楽しくできたと思います。
- ・うまくできた。
- ・当日は、点呼をとったりして忙しかった。反省は、もっと班の中をまとめて、静かに、しかも早く行動できるようにしたかった。

〈今後に向けて〉

- ・合宿のことを生かして、今でも班長をがんばっています。
- ・これからは、自分の責任をきちんと果たそうと思っています。
- ・席がえをしてもまだ班長なので、班員をまとめたり、仲間はずれの子が出ないように、楽しくやっていきたいです。でも、班長だからといって、威張ったり、こき使ったりはしないで、できるだけ、みんなと一緒にいようと思います。
- ・がんばろうと思う。
- ・班をまとめ、みんな仲よく優しく、てきぱきしている班にしたいと思っています。

スポーツ係

〈事前準備〉

- ・3日間くらい残って、対戦表を書いた。でも、1日目は、先生がいなくなってから何もやらずに帰ったので、残って書いた人には、悪いことをしたなあと思っています。でも、次の日には、でっ

かい表を書かされて、家に帰るのが遅くなった。準備は、きちんとできたと思います。

- ・係で、放課後残ることになっていたのに、1回だけさぼってしまった。その分だけ、別に残るときにがんばった。得点表を書き写したりとか、何をやるかなど決めるとき、自分ではがんばったと思う。
- ・対戦表とか得点表を作りました。僕は、字が下手なので、少ししか書かせてくれませんでした。それと「線を引くので定規を持って」といわれたので持っていたら、ぼくのせいで線がずれてしまいました。
- ・すごくたいへんだった。みんなが協力してできた。でも、時々さぼっている人がいたので、残念だった。
- ・得点表を作り、ルールを決めることは、よくできた。
- ・表とか作るとき、授業後なので部活に早く行かなければと、慌てていたりして失敗などがあつた。

〈当日〉

- ・きちんとできました。でも、予定と少し違っていたので残念です。
- ・みんなが来る前にも準備することがたくさんあった。ソフトバレーのネットを作ったり、丸太を一つだけ出したりした。後片付けもたいへんだった。
- ・ソフトバレーとドッジボールの線を引きました。これが結構めんどくさかったです。丸太も運びましたが、なかなか重かったです。
- ・みんながおしゃべりをしていて、ぼくたちの話を聞いてくれなかったのが2種目できなくなってしまった。せっかく、準備してきたのに、だいなしになってしまった。でも、他の種目は、みんな一生懸命やってくれたのでよかった。
- ・当日の準備はすごく大変だったが、自分なりにがんばったと思う。計画通りにはいかなかったが、うまくできたので良かったと思った。審判がたいへんだった。

〈今後に向けて〉

- ・これからも、オリエンテーション合宿みたいな行事があったとき、もっといろいろな計画を練って、楽しくしたいと思います。
- ・予定していたスポーツで、時間が足りなくてできなかったものがあるので予定通りできたらいいと思う。
- ・このような仕事をやるときは、失敗しないようにやりたいです。
- ・みんなで協力して、準備をしたり、静かにさせた

りしたい。

- ・またこういう機会があったら、もっと工夫してやってみたい。

ファイヤー係

〈事前準備〉

- ・先生とファイヤー係の何人かで決めることで良かったのですが、まだ班の出し物を考えていなかったもので、どうしようか迷っていました。
- ・2回だけ集まらなければいけない時があり交替で出席しました。準備はだいたいできました。
- ・2回の集まりに出たくなくて、嫌だったけど出て良かったと思いました。何故か分からないけど面白かったから、準備と言っても何もなかったようなあったような。
- ・計画が不十分だった。
- ・一応ファイヤーの係長となったが殆ど何も決めてなく、女子達が決めていくのを見ていただけだから何もやっていない。
- ・最初の話し合いにでなくて2回目の時は、話の内容がつかめなかったが、後で分かってきた。
- ・初めにしては、まあまあしっかり出来たと思う。
- ・トーチ棒を作るのに苦労しました。

〈当日〉

- ・ファイヤーに使う木を運ぶ仕事がしっかりできた。本番の時、火が落ちたり熱くて落としたりして大変でした。でも、それからは楽しく出来ました。
- ・係の集合時間に遅れてファイヤーの材料運びが少ししか出来なかった。
- ・木を運ぶ時、重いなぁと思い軽い木ばかり運んでいた。これからは誰がやるからいいと思うのでなく自分が進んで出来るように努力したいです。
- ・木を運んだり組んだりしたけど難しかった。本番では、先生にほとんど進行をやってもらったので残念だった。
- ・本番では、特にすることが無く他の人と一緒にやっていた。
- ・ちゃんとできたが、火を落としてしまったので残念だった。
- ・灯油のついた棒を振り回している者がいて皆にかかるからやってはいけないと思った。火をつけた棒を持って歩いている時、焼けどをしてしまった。もっと火のつく所を点検したほうが良かった。

〈今後に向けて〉

- ・キャンプファイヤーの時の司会は、私達のうちの誰かがやったほうが良かったと思う。片付けはどうなったのか。私達が行うはずだったんです。歌

の練習は、もう少し前もって練習した方が良かったと思います。

- ・集合に遅れないようにしたい。放送はしっかり聞くこと。
- ・司会なども、自分達でやって木を組むのももっと上手にできるように工夫してやりたいと思います。班ごとの出し物は、迫力に欠けました。準備の段階でもっとしっかり計画を立て、審査できるとよかったです。
- ・反省するところは、ちょっといい加減だったと思います。
- ・今回あまり案を出したり、意見を言ったりしなかったもので、次回には積極的に参加したい。
- ・どんな係でも、一生懸命頑張ってると思う。
- ・色々なことに注意して、係としての仕事をしっかりやっていきたい。

バスレク・しおり係

〈事前準備〉

- ・他の人から見れば、ほんの数時間足らずのバスレクでしたが、それを計画するまでがものすごく大変でした。それでも係全員で協力して、みんなの喜びそうなゲームや曲を考えたりしました。
- ・しおり作りを特定の人にやらせてしまったので、すごく後悔しています。
- ・係で集まって話し合いをするときに男子が遊んでばかりでほとんど決められませんでした。そして、女子で放課にしおりを作りました。
- ・積極的に話し合いに参加しないで、はじっここのほうでつまらないおしゃべりをしていたので、悪かったなあとと思います。他の人がバスレクのことを全部やってくれて、わたしは少しもやりませんでした。それで、悪いと思ってしおりの仕事をやらせてもらいました。なかなか大変でした。
- ・ほとんど話に加わっていなかった。
- ・ぼくは係長だったが特にすることはなく、女子が大部分をやってくれた。ぼくがやったことは、プログラム作り、しおりの仕上げくらいだった。他の男子は特にすることはなかった。
- ・きちんと計画を立ててできました。
- ・先生に与えられた時間内に、どう言うことをして、誰がやるかなどいろいろ考えてしおりに載せた。けれど、当日できたのはほんの一部分だったと思う。
- ・席を決めるのにとっても時間がかかってしまったのが残念です。
- ・全くやっていない。歌の歌詩を2曲書いたくらいだ。情けないと思う。

〈当日〉

- ・ なんとか自分で満足できる程度にできました。
- ・ はじめのゲームはよくできたけど、次のイントロクイズはみんながだんだんうるさくなって、残念だった。全然聞いてくれなくて、残念だった。もう少し楽しくやりたかったです。
- ・ ゲームやクイズを進めてくれる人がいて安心しました。男子とかわたしはあまりやらなかったのが悪いなあと思いました。
- ・ 帰りのバスレクの係になりました。けれどみんな疲れて寝ると言っていたので、ガイドさんにカセットテープを渡すことだけしていました。
- ・ 他のバスレク係が司会をしていたが、ぼくは、それを聞いていただけだった。何も係にもついていなかったみたいだった。
- ・ まあまあうまくいった。帰りのバスで「今からお休みタイムです。」と言うのを忘れたのが残念だった。
- ・ あまり仕事ができませんでした。だから、もっといろいろなことがやりたかった。
- ・ もっとまじめにやればよかった。他の係の子に悪いことをした。
- ・ なぜゲームが二つしかできなかったのか考えた。歌や曲が多過ぎたのだ。歌や曲を聞くのもいいけど、クイズなどみんなができるゲームを増やせばもっと友達関係が深まるのではと僕は思う。

〈今後へ向けて〉

- ・ 今後もバスレク系の類がやりたいです。そして、みんなが楽しめて、笑いが絶えないような集会やバスレクにしたいです。
- ・ 今後、バスレク・しおり係になったら、早く準備しておきたいです。みなさんに「楽しかったね。バスの中」と言われてみたいです。
- ・ 今回少し段取りが悪かったので、今度何かあったときは、もっと事前準備をしっかりやりたいです。
- ・ あまり係の仕事がしっかりできなかったの、これからはもっと受け持った仕事は、きちんとやるようにしたいと思います。
- ・ もう一度この係になったら、みんなを楽しませてあげたいので、係の先頭に立って色々なことを考える。
- ・ バスレクの係の人数はそういらないと思った。半分以上の者が、何もすることが無く、暇そうだった。
- ・ とにかくもっともっと積極的にやりたい。そうすれば、今回みたいにグータラ合宿なんてしなくて済む。常に前向きでやっていれば、きっとすばらしいだろうと思う。

美化・食事係

〈事前準備〉

- ・ お菓子を買いに行きました。いろいろ買って、1円足りませんでした。お店の人はまけてくれたけど、あまりいい買い方ではないので、今度は少なめに買ってお釣りが出るくらいに買いたいです。
- ・ お菓子の代金が人数で割れなくて、少し損をした。
- ・ 計画をきちんと立てることができた。
- ・ 仕事が少ないなりに一生懸命努力したつもりです。お菓子のお金をいくりにするか決めるだけで、とても時間がかかりました。また、個人で買うのか、グループで買うのかという問題もありました。先生が、グループで楽しくやるために、グループで買いなさいと言っての、そうしました。しかし、お菓子の好き嫌いがでてしまいました。でも、そういうのは班長がきちんとまとめてくれたと思います。

〈当日〉

- ・ 宿舎の人達と一緒に食事の準備をしました。忘れること無く真面目にできました。後片付けもよくできたと思います。
- ・ 自分ではしっかり食事の用意などもしたつもり。けれど、1度だけ忘れて班の人にやってもらった。
- ・ しっかりできた。特に、お茶くみや食事の準備、後片付け。
- ・ みんなで仲良く食べることができて良かったと思います。
- ・ 部屋の掃除もきちんとできました。ほうきで掃いていると、ものすごくたくさんのゴミ、ほこりが出てきました。たった2日間いただけだったのにこんなに出るものかと、びっくりしてしまいました。
- ・ 困ったり、大変だったりはなかった。
- ・ 79人+先生分の食事の準備や片付けなので、大変だろうと思いましたが係の人全員で協力してできました。食事のほうはきちんとできたけど美化のほうは、最後にやっただけなので残念でした。

〈今後に向けて〉

- ・ 家でも食事の手伝いをしようと思います。食事の準備はあまりやったことがなかったので、やってあげると喜んでくれると思います。
- ・ 人にやってもらう前に、忘れずに自分で仕事をしたい。
- ・ 今回以上にもっとてきぱきとやる。
- ・ 部屋の掃除に気を遣いたいです。そして、いつもきれいな部屋にしたいと思います。
- ・ 今度から、食事だけでなく、美化のほうもきちんとやり、次に使う人が気持ち良く使えるように努力します。

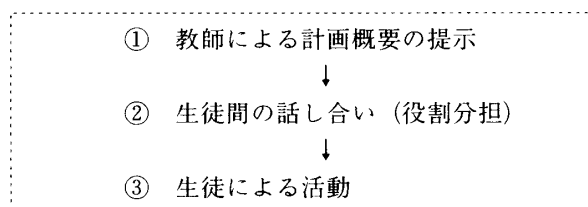
Ⅳ まとめ

1. 反省・感想

人の話を聞く態度に対する生徒の価値観を上手に引き出すことが出来なかった。10月中旬頃の今の状況を見ても、オリ合宿のねらいであったこの点について考えると、成果として現われていないように思われる。生徒個人々については、その価値を理解していることは分かるが、集団における個人々の行動で現われていないのが残念に思う。原因として、生徒の自主的運営や主体的なオリ合宿ではなく、先生からの指示による行動計画が多かったことによる「お客さま的」な行事への参加であったのではないかと。また、学校生活への積極的な参加をするための動機づけがなされなかった。それらは、事前準備の段階での重要なポイントではなかったかと思われる。

学年・クラスの仲間意識を育てることは、オリ合宿によりお互いを知り合う機会が十分になされれば、問題が起こっても解決できる力となる。その為には、何か共通課題を持ってオリ合宿に参加させる必要があるように思われる。

オリ合宿を各学年で行なわれる宿泊行事の基礎づくりとして取り組む事を考え、系統的な学校行事の進め方として以下のことが考えられる。



まずこの流れを体験する手段（先生が示したものをいかに自分達の中に自分達の物として取り入れていくか。）としてオリ合宿を位置付け、この時だけで終わらないものまた、後に残るものでなければいけないと思う。その為にも生徒がどれだけ事前の企画準備・運営に参加したかが、学校行事を長い目で見たときに必要な事だと思われる。

2. 生徒の感想文のまとめ

友情に関すること [性格、長所短所がわかった・友情が深められた・今まで以上にもっと仲良くなれた・友達がふえた・知らなかった子と仲良くなれた] に目標を置いていた生徒が多く見られた。特に女子にその係向がつよく見られた。そして、その目標が達せられたとする者が九割りほどあった。

逆に協力することけじめを付けることを目標にあげたものが半数あったにもかかわらず、その内達成できたものを見ると少ないように思える。

クラス学年の仲間づくりをする事が目標として達成されたかに思えるが、個々の人間での間で強まったに過ぎず、宿泊行事という立場の持つ自然な結果である。やはり、もう少し組織としてのまとまりの成果が出ると、合宿以降のクラス・学年での活動に大きく影響したのではないかとと思われる。

3. 今後の課題

オリエンテーション合宿の重要なねらいに、学校行事や学級活動などの学校生活にたいして自主的・組織的に対応できる集団づくり（状況に適應できる集団の自主的組織化）という視点を持たせたい。

本校では、入学者が2クラス（80名）と小規模であり、同一生徒集団が入学以後6年間学校生活を共にする点から考えて、オリエンテーション合宿を単に生徒の相互理解の場にとどめず、学校生活でのさまざまな問題解決に対応する一集団という観点から、自主的組織的な活動が可能な集団育成のための導入行事として意義付けたい。

具体的な内容としては、生徒の主体的な企画・運営・反省・評価や目的にあった組織化、意志決定のための民主的手続き、リーダーシップやフォロアーシップの育成などを重視する必要がある。

本校で6年間過ごす生徒の実態を観察すると、中学校低学年での生活において、活力ある主体的な集団活動を体験した者ほど、後の高校生活において、自治能力の高い組織活動に貢献する傾向があると経験上思われる。（例：高1林間学校、高2研究旅行、文化祭、その他の生徒会、委員会、学級活動など）したがって今後の課題としては、集団づくりに重点をおいたオリエンテーション合宿の在り方を検討していくことがあげられる。その意味では、準備段階からの生徒を含めた取り組み方が問われるものと考えられる。

4. 次年度実施例

例1 4月初旬（入学式・始業式後）の実施

ねらい：・附属校生としての自覚を持たせたこれからの学校生活が意欲的に取り組めるようにする。

- ・新しい仲間での集団づくり
- ・学校での生活習慣の確立

第一日	12 13						17 19	
	始めの式	昼食・連絡	生徒部長談	教務部長談	校歌練習	指導部長談	レクレーション班対抗	夕食・入浴
第二日	体操・散歩	朝食 学級会活動 ② 共同製作	昼食・連絡	班発表会及び反省会	学年主任談	学級会活動 ①		

例2 4月下旬

ねらい：・生徒内における自主的組織の確立をめざす。

・リーダーの育成とグループ内の協力体制の在り方を体験させる。

・各行事に対する取り組み方の基礎を体験させる。

	12 13				17 19			
	第一日			第二日	第一日			第二日
	体 操 ・ 散 歩	朝 食	学級活動 反省会	昼 食 ・ 連 絡	学級会活動 班活動・製作活動 発表会	夕 食 ・ 入 浴	フ ォ ー ク ダ ン ス 及 び ス タ ン ツ 大 会	
					レクレーション	実 行 委 員 談	学 年 主 任 談	

4月始めだけが学級づくりの場ではなく、1年を通した学級づくりであることを念頭に置き、生徒同志・生徒と先生をじっくり知る意味で、早い時期に時間を必要とする長い時間をかけた学級活動の場が宿泊行事によってあることは意味のあることだと思われる。

宿泊行事を通して学校の教育活動では見つけられない生徒の動き、仲間、感性、物の考え方がより一層の理解がえられるのではと考える。